



広島東南ロータリークラブ
週報2020年10月12日 (第2783回例会)

例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 TEL241-1111
事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 TEL221-4894
会長 米川 晃 幹事 胡 定晃

10月は「経済と地域社会の発展月間」「米山月間」です。
10月ロータリーレート 1ドル=105円



本日の例会

スケジュール	会長時間
<p>12:45 点 鐘 ロータリーソング「我等の生業」 来客紹介 (親睦委員会)</p> <p>12:50 会長時間 (米川会長) 幹事報告 (胡幹事) 委員会報告 ・出席報告 (出席担当) ・その他 同好会報告 S.A.A.</p> <p>13:00 プログラム</p> <p>13:30 点 鐘</p>	<p>○連続100%会員表彰(10月表彰) (*は記念品あり) 久保河内 豊会員 15年* 妹尾 年朗会員 4年 品川 晃二会員 14年 上原 亮会員 2年 杉山 颯彦会員 6年 原 めぐみ会員 1年* 井原 倫子会員 5年*</p> <p style="background-color: #4CAF50; color: white; text-align: center;">幹事報告</p> <p style="background-color: #4CAF50; color: white; text-align: center;">本日のプログラム</p> <p>「新入会員卓話」 久行康夫会員</p> <p style="background-color: #4CAF50; color: white; text-align: center;">次回例会 (10月19日)</p> <p>「人生会議について」 日域大陸会員</p>

お知らせ

今後の予定

★指名委員会

と き 10月19日(月) 13:35~
と ころ ANAクラウンプラザホテル4階「カメラ」
対 象 者 歴代会長

○支店長会員とともに秋の会(松茸の会)

と き 10月19日(月) 18:30~
と ころ 上関 芸陽
中区榎町1-20 TEL: 231-0333

他クラブ例会変更
(12:00~12:30 各例会場にて)

- 10/14 (水) 広島陵北RC
- 10/22 (木) 広島安佐RC
- 10/26 (月) 広島廿日市RC
- 10/28 (水) 広島陵北RC
- 10/29 (木) 広島北RC・広島安佐RC
- 10/30 (金) 広島城南RC

10月5日 累計452,000円 (本例会18,000円)

ニコニコ箱

○中脇令子:9月14日の「新会員歓迎会」にはこのような時期にもかかわらず70名あまりの皆さまにご参加頂いてありがとうございました。終了後、2週間は息を潜めて過ごしましたが、何もなくてほっとしました。9月に3人目の孫が生まれました。来年には、広島に戻ってくる予定の孫で、今から楽しみです。(3口)

○武士末 修:広島経済レポートに弊社新商品が掲載されました。昨日釣りに行って1m超えのサワラ釣りしました。(3口)

○荻田玲子:主人の誕生日にきれいなお花をありがとうございます。(1口)

○江角 優、上田康博、宝迫信義、八木 裕:9月29日NTTがドコモを完全子会社化すると発表したとしてNTT関係の方。(1口×4)

○尾木 朗:10月1日ひろぎんHDIは東証一部上場いたしました。新たなグループ経営形態のもと、あらゆる分野の課題の解決に取り組んでまいります。(5口)

~今日は何の日~

○『世界教師デー』ユネスコが定めた国際デーの1つ。1966年10月5日「教師の地位向上による勧告」が調印されたという事で教育関係の方。佐野庸子、田上克彦(1口×2)

前回2020年10月5日例会

「米山記念奨学会」に因んで

米山記念奨学会担当リーダー鹿瀬 賢二会員



今月は、米山月間ということで、ロータリー米山記念奨学生事業の概要と当クラブの寄付状況について、米山記念奨学会の資料を基に、お話しさせていただきます。

▶ 米山奨学事業の概要

- 日本のロータリー**独自の事業** (日本全国34地区の合同活動)
- 日本で学ぶ**外国人留学生**の支援 (公益財団法人を設立し運営)
- **世話クラブ・カウンセラー制度**で交流を重視

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、34地区、全地区が参加する多地区合同プロジェクトです。1952年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」は、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源はすべてみなさんからのご寄付で成り立っています。この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。銀行振込が多い他の奨学金とは違って、米山奨学生にはロータリー活動に共に参加してもらい、交流することを大切にしています。奨学生一人一人に地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となり、その会員が「カウンセラー」となり、奨学生の日常の相談役をつとめていきます。

▶ 事業のはじまり

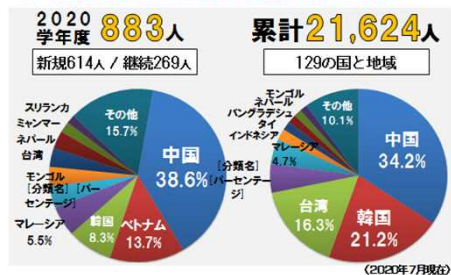
- 1946年 米山梅吉氏逝去
- 1949年 日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰
- 1952年 東京RCが事業構想 **米山基金** **平和日本**を世界へ (日本の友人を増やし 平和を 実践する人材を育てる)
- 1957年 日本全国の組織へ
- 1967年 財団法人設立



この事業の始まりですが、終戦後の1952年に東京RCの古沢氏が構想した「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたいとの思いからでした。

海外から優秀な学生を招き勉学を支援することで、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという強い願いがありました。

▶ 国内最大級の奨学生数



米山は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。

今年4月からスタートした2020学年度は、日本全国で883人（前年度868人）が現在、各ロータリークラブでお世話をいただいています。累計では世界129の国と地域から2万1,624人を支援しています。

奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりです。累計では中国、韓国、台湾が多いですが、最近ではベトナムの奨学生が急増しており、中国に次いで多くを占めています。

▶ 奨学生数の決定と選考

採用基準(全国統一)

- 勉学への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になりうる人材
- 家庭状況、経済状況は評価対象外

将来の目標 + 交流への熱意 + 人間性 + ショウケン能力 + 地区裁量

「将来の目標・留学の目的がきちんとしているかどうか」「交流への熱意があるかどうか」「人柄の良さ」「コミュニケーション能力の高さ」

詳しい評価項目は公表していませんが、全国統一の評価項目を使って、各地区の選考委員会が面接選考をしています。もちろん、応募書類の審査もしています。米山奨学金はお金に困っている留学生の経済支援ではありません。

珍しい国だから、生活に困っているから、学校の成績が優秀だから…。いずれも、ただそれだけでは米山奨学生に合格しないのです。

▶ 普通寄付金と特別寄付金

普通寄付金	特別寄付金
安定財源として、各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから寄付いただいています。	個人・法人・クラブからの任意寄付。金額に決まりはなく、ロータリアン以外の方からもお受けします。

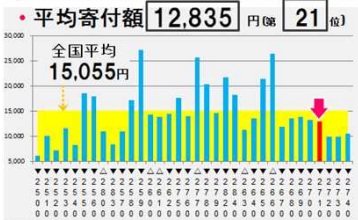
▶ 当クラブの寄付について

普通寄付金	特別寄付金
全会員、半期に1度2,500円を会費と共に寄付して頂いております。	寄付を募り、承諾して頂いた個人に毎月3,000円、法人に毎月5,000円を寄付して頂いております。
全会員 5,000円/年	個人会員 36,000円/年 法人会員 60,000円/年

まず、寄付金には2種類あります。ひとつは、普通寄付金です。安定財源として、各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから寄付いただいています。もう一つが特別寄付金です。個人・法人・クラブからの任意寄付で金額に決まりはなく、ロータリアン以外の方からもお受けします。

個人として30名の方が継続寄付して頂いておりますが、私より早く入会されている会員のほとんどの方が、累計で30万円を寄付して頂いており、中には、累計で40万円を寄付しておられる先輩会員が2名おられます。

▶ 寄付実績 2710地区個人平均



▶ 寄付実績 当クラブ個人平均

	東南RC	全国平均
個人平均寄付額	19,054円	15,055円
-普通寄付金	5,175円	4,788円
-特別寄付金	13,879円	10,267円

これは、2020年6月末時点の地区別の個人平均寄付額です。

昨年度の全国平均は15,055円、最も高かったのは、第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）の27,190円でした。当地区である2710地区は、ピンク色の矢印が指している所で、一人平均12,835円、全国で21番目でした。因みにその前の年度は、22番目でした。

もう少し詳しく見てみますと、我が東南は、個人平均寄付額19,054円で、普通寄付金は、5,175円、特別寄付金は、13,879円でした。全国平均よりは当クラブは寄付額が多くなっています。

▶ 寄付実績 2710地区内における順位

2710地区内における寄付実績

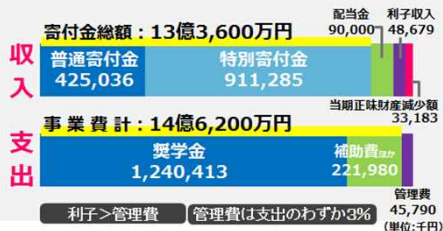
クラブ名	会員数(1/1)	前期合計(2020/6/30)	個人寄付平均	累計
広島東南	100	④ 1,905,414	⑥ 19,054	① 77,792,193
広島	125	③ 1,975,000	15,800	② 77,495,963
広島東	117	② 2,457,858	21,007	③ 67,013,459
福山	82	① 2,620,450	① 31,956	60,504,716
徳山	48	1,180,000	③ 24,583	28,589,700
広島安佐	22	570,500	② 25,931	6,469,100

2710地区には73ほどクラブがありますが、その中で個人平均寄付額は我がクラブは6番目です。1番多いのは31,956円の福山RCでした。年間の寄付合計額は、東南は4番目で、一番

多いのも福山RCで、2,620,450円でした。今までの累計額では、我が東南が77,792,193円で1番多いです。2番目に多い広島ロータリークラブとはわずかに50万円の差です。こうしてみると、当然会員数が多いと年間寄付合計額は多くなりますし、寄付期間が長いと累計額は、多くなります。クラブとしては米山奨学事業に貢献していることにはなりません。ただ、他クラブと競争する必要性はないのですが、個人平均寄付額で考えると、6番目であり、もう少し寄付額を増やしていても良いように思います。このまま推移すると、数年後には累計額でも他クラブに抜かれることになるかも知れません。是非、地区で1番多く寄付して、世界平和に寄与する奨学事業を支援していきましょう。

▶ ご寄付は奨学事業に

・寄付は前年度から7,500万円減



2019-20年度の寄付金収入は13億3,600万円（前年度14億1,200万円）、前年度から約7,500万円の減少となりました。米山奨学事業は、規模が非常に大きい事業であるにもかかわらず、管理費は支出のわずか3%、昨年度については管理費はすべて資産の利子収入でまかなえています。昨年度は一般企業でいう赤字決算でしたが、ここ数年の黒字分を積み立てていますので、2021学年度の奨学生採用枠は、今年から30人増やして全国で890人となります。

▶ 学友会（国内33、海外9）



巣立った奨学生のOB組織、米山学友会は日本に33、海外に9つあります。それぞれ、親睦を深めたり、自主的に社会奉仕活動をしたり、ロータリーの活動に協力したりしています。

▶ 台北国際大会 

- 国際大会期間中
2021年6月12日
「出会いin台湾」
- 2年に1度開催される米山学友の世界大会
ぜひご参加ください!




来年（2021年）6月は台北でロータリー国際大会が開催されます。それに合わせて、米山学友の世界大会、「出会いin台湾」が開催されます。

6月12日、開会式の前日の予定です。詳細については、米山奨学会ホームページなどで随時案内しますとのこと。台北国際大会では、米山奨学会がブースを出展し、分科会を開催して、日本のロータリーの誇る米山記念奨学事業を世界にPRする予定だそうです。

▶ 学友からロータリアンに

239人	台湾	韓国	中国	その他
国・地域別 (18ヶ国)	82人	68人	48人	41人

- ガバナーになった学友：3人**
- リム コンウイ 林 隆義氏 (韓国) 1997-98年度
- キョ コクワン 許 國文氏 (台湾) 2005-06年度
- リン カミン 林 華明氏 (台湾) 2015-16年度



巣立った奨学生たちは、個人としてもさまざまな形で活躍しています。教育や研究、NPOやNGO、起業する者などあらゆる分野にわたっています。

ロータリーに親しんだ学友たちは、卒業後も、ロータリーとのつながりを持ち続けたいと願っています。その1つとして、ローターアクトに入会する学友、また、ロータリアンとしてクラブに入会する学友がいます。現在、ロータリアンになった学友は239人おり、その中には、ガバナーになった学友も3人います。また、米山学友が中心となって設立したロータリークラブも国内外に5つあります。

▶ 恩返しの気持ち  学友からの寄付

東日本大震災	約760万円
熊本大地震	約20万円(上海)
学友からの寄付	累計 3,768万円
遺言寄付	200万円

- 2019年度は学友から約180万円 (うち98万円は創立10周年を迎えた東京米山山友愛RCなどのロータリアン学友から)
- 毎月1万円、毎月2,000円などコツコツ継続寄付する学友も

米山記念奨学事業の成果、それは「学友」そのものです。2011年、東日本大震災が起きた時に、発生直後から日本の無事を願うメッセージが相次いで寄せられ、国内外の学友から760万円の義援金が送られました。熊本大地震の時にも、上海米山学友会から20万円が寄せられました。米山奨学会への寄付のほとんどはロータリアンによるものですが、実は学友からも、先ほどの義援金以外に、累計3,768万円の寄付をいただいています (2020年6月末)。昨年度だけに限定すると、約180万円が学友からの寄付でした。毎月1万円、毎月2,000円など、コツコツ継続して送金してくれている学友もいます。

▶ 奨学生に関わる危機管理

自然災害	病気・事故	ハラスメント
		
地区米山奨学委員会→危機管理委員会へ報告・対応		
地区単位 のLINE グループ 等	2020学年度 より現役奨 学生の傷害 保険 (例会出席時)	奨学生 →ハラスメント 相談窓口 ロータリアン →賠償責任保険

最後に危機管理。米山奨学生は、ほぼ全員が成人しているとはいえ、まだ大学・大学院で勉強する学生です。青少年交換学生と同様に、彼らの安全を常に気にかけてくださいますよう、お願いしますとのこと。

これで米山記念奨学事業についての卓話を終わります。ありがとうございました。

10月19日 例会メニュー《洋風弁当》

- 一、若鶏ハーブ焼 敷き野菜
- 一、鱈ソテー トマトソース ブロッコリー ポテト
- 一、環八 甘海老 金魚草 山葵
- 一、海老新文含め煮 木の芽
- 一、小松菜信田煮 白胡麻
- 一、オレンジ 巨峰 パセリ
- 留梳、合せ味噌仕立て 二色素麺
- 食事、世羅産コシヒカリ 香の物